

委員会報告書【要約】

1. 会議名称 第5次鈴鹿市地域福祉活動計画評価推進委員会
2. 開催日時 令和7年6月30日（月）10時30分～12時30分
3. 開催場所 鈴鹿市社会福祉センター 2階 大会議室

4. 出席者 評価推進委員10名（12名中）

（敬称略）

藤原 芳朗	鈴鹿医療科学大学
水野 克則	鈴鹿市自治会連合会
前川 まゆみ	鈴鹿市民生委員児童委員協議会連合会
林 仁	地域包括支援センター
渥美 真樹	鈴鹿市福祉施設連絡協議会
廣瀬 雅也	障害者総合支援センターあい
太田 正明	鈴鹿市保護司会
岡田 聖子	すずっこ食堂ネットワーク
岡野 美也子	鈴鹿市ボランティア連絡協議会
田中 彩子	鈴鹿商工会議所
小林 佐織	鈴鹿市健康福祉部（社会福祉事務所）
小野 秀哉	鈴鹿市地域振興部

※欠席：水野委員、前川委員

鈴鹿市社会福祉協議会事務局11名（12名中）

亀井 秀樹	（会長）
坂 佳徳	（事務局長）
伊藤 京子	（統括監）
中西 淳一	（次長）
長谷川 友子	（地域福祉課長）
田中 浩樹	（地域福祉グループ リーダー）
野村 浩美	（基幹型地域包括支援センター センター長）
廣田 祥基	（療育センター 所長）
岩崎 裕美	（くらしサポートセンター センター長）
田邊 あき江	（総務管理グループ リーダー）
真弓 和人	（地域共生推進グループ リーダー）
加藤 大季	（地域共生推進グループ）

欠席：田邊

5. 会議内容

○あいさつ

- ・ 亀井会長より

○第5次鈴鹿市地域福祉活動計画 評価推進委員会 自己委員紹介

《事項》

1 第5次鈴鹿市地域福祉活動計画 評価推進委員会 委員長・副委員長の選任について

2 第5次鈴鹿市地域福祉活動計画にかかわる事業評価〔令和6年度評価〕について

別冊「第5次鈴鹿市地域福祉活動計画」・「第5次鈴鹿市地域福祉活動計画評価推進委員会（令和6年度分）」に沿って担当職員より説明

○基本目標1 地域の福祉課題に対するアプローチ、多様な情報の発信（事務局 田中・真弓）

計画1－1 福祉課題の早期発見、早期支援（田中）

計画1－2 地域資源と情報の見える化（真弓）

○基本目標2 地域福祉活動参加機会の創出（事務局 真弓）

計画2－1 地域福祉活動参加へのきっかけづくり

○基本目標3 地域と住民のつながりの維持と新しいつながりの創出（事務局 田中）

計画3－1 地域課題を住民主体で解決できる地域力の向上

計画3－2 地域の支えあい・見守りの仕組みづくり

○基本目標4 地域の支えあい機関のネットワークづくり（事務局 岩崎）

計画4－1 多様な主体による重層的な支援体制づくり

3 質疑応答

（田中委員）

冊子「第5次地域福祉活動計画評価推進委員会（令和6年度分）」に掲載のP12 ■多機関協働事業《受付件数》90件（うち多機関協働事業介入件数12件）それぞれの担当に案内できたのか。また全て解決できるよう努めているのか。

→90件はつながせていただいたすべての件数である。12件支援会議等を開催させていただいた件数である。いただいた相談については解決できるよう全てつながせていただいている。

(太田委員)

くらしサポートセンターへは、福祉以外の相談も寄せられているのではないかと。またくらしサポートセンターの趣旨が理解されていないのではないかと。今後のPRの方法など見解を聞かせてほしい。

→入口の段階では福祉以外の相談もあるが、実は困りごとの中に福祉の相談を要している場合もある事が丁寧に関わることで見えてきた。くらしサポートセンターでは、一度受け止め、たらい回しを防ぐ窓口としてもこうした係りは必要かと感じている。

(岡野委員)

ボランティアの分野にてたくさんの方が養成されていると思う。入口はわかるが、その後のボランティアの方の現状(出口)についてアンケートなどを用いて調査はされているのか。手話ならサークル加入から通訳士になることが目的であるが、要請した方について、その後ボランティアとして定着しているかの確認は必要かと思う。

→ボランティア養成後も活動を随時紹介し、積極的に参加されている方や、様子見の方もみえる。専門的なボランティアについてはそれぞれのセクションの担当者が活動に入れるよう案内を行っている。定着の実態調査の必要性も感じているため、今後検討したい。

(藤原委員長)

P4【自らSOSを出せない人たちに対して、アウトリーチを通じて支援の入り口をつくる】にて、つながったケースは111件でその内訳の詳細を記載するといいいのではないかと。たとえば金銭的な問題があるケース○件など記載し、内解決につながったケースは○件など記載しPDCAサイクルにつながるよう努めてはどうかと思う。

→今後の報告時の記載方法として検討する。

4 地域協議会について

→事務局中西より説明。

市内の社会福祉法人が社会福祉充実計画を策定している場合に、本委員会にてご意見をいただくということになっているが、今年度は対象となる法人はなかったため、来年度以降、該当する法人があれば本委員会にてご意見をいただく。

5 その他

→事務局 中西より説明

各委員の意見の一部、取りまとめた数値を評価シートに反映し、郵送にて報告。また、鈴鹿市社会福祉協議会のホームページでも結果を公開予定。

○閉会あいさつ

・坂事務局長より